

令和 8 年度 第 1 回 永平寺町地域公共交通会議 分科会 要旨

日時	令和 8 年 6 月 15 日(月)15:30～16:30
場所	永平寺町役場 3 階 大会議室
議題	別添「次第」のとおり
出席者	別添「配席図」のとおり
議題	「永平寺町地域公共交通計画」策定について

【諸言】

永平寺町地域公共交通会議の国会と同様。

【議事概要】

委員定数 11 名のうち、代理出席を含め 11 名が出席した。交通計画の策定、地域のニーズに合った利用者の手段の確保など、地域の様々な仕組みについて委員間で話し合いを行った。特に頻出したキーワードは「計画策定のためのスケジュール」「自転車活用計画」「アンケート」についてである。主な内容は以下の通りである。※文末に発言者を記載する。例：永平寺町役場→(事務局)、公共交通会議委員→(委員)

- ・スケジュールを作成するのであれば、時系列に整理して記載すべきである。また、調査をいつ行い、いつ取り纏めるのか、明確に分けないとスケジュール感が伝わらない。(委員)
- ・アンケートの内容について、自動運転なども含める予定がないのか。どのような意図で中学生を対象にし、高校生を対象外とするのか、その理由がよく分からなかった。(委員)
- ・スケジュールや計画をガントチャート等の形式で整理する必要があると考える。(委員)
- ・公共交通や自転車のようなテーマごとに丁寧に区分した上で計画を策定し、議論を深めていくことが理解促進につながると認識している。(委員)
- ・一年間で計画を策定できるのか疑問がある。他自治体でも調査を終えて一年で計画をまとめることが難しいことが多い。調査と並行して月に一度の会議を行ったとしても、十分な議論が深まるか懸念している。(委員)
- ・本計画は 5 カ年計画として策定する。今回が第 1 期計画となり、5 年後には 2 期計画として地域のデマンド交通やコミュニティバス等を含めた上で、再度見直しや更新を行う方針である。(事務局)
- ・問題解決策が既に提示されているが、実態把握が先行しなければ、本来の課題を見誤りやすい。やることに先に決まっていスケジュールに当てはめているだけという印象を受けた。(委員)
- ・中学生対象の自転車アンケートについて、これは地域公共交通とは分けて扱うべきだと感じている。公共交通の改善と道路交通網や自転車通行計画整備の推進は、一緒に進めるのは現実的に難しいため、別々に対応するのが望ましいと考える。(委員)
- ・公共交通計画と自転車活用推進計画それぞれの軸をしっかりと定めた上で、最終的にどのような計画とするか構成を考えていく必要があると考えている。(委員)
- ・再度各自で内容を見直し、修正案を送付してもらい、最終的に修正を施した上で「これで進める」というゴーサインを出す形としたい。その後の進行や最終的な決定については、事務局、分科会長、協議会長に一任する方向で進めていきたい。(委員)